

民事実務講義案Ⅰ（五訂版）



監修	:	裁判所職員総合研修所
定価	:	本体 4,096 円＋税
判型	:	B5 判
ページ数	:	408 ページ(本文 365 ページ)
ISBN	:	978-4-906929-52-8
発行	:	平成 28 年 6 月

内容

「裁判所書記官の職務と役割」から始まる本書は、まさに裁判所書記官の実務のスタート地点となる基本書です。平成26年2月に刊行した四訂補訂版に、形式的に家事事件手続法や非訟事件手続法の新設に伴い参照条文の修正が行われました。その他に、民事訴訟規則の改正及び学説の動向を踏まえた加筆修正も行われています。

裁判所書記官が行う事務について、可能な限りその理論的根拠まで言及しながら解説されていますので、裁判所職員の方はもとより、民事手続に携わる弁護士、司法書士等の実務家の方々には必読の一冊です。

民事実務講義案Ⅱ、Ⅲと併せてご利用ください。

目次(抄)

第1章 裁判所書記官の職務と役割	第2 口頭弁論に向けた準備	第3 弁論の併合と調書
第1 民事手続における裁判所書記官の権限と役割	第3 口頭弁論の実施と調書	第4 補助参加及び訴訟告知
第2 裁判所書記官の職務	第4 口頭弁論における訴訟行為と調書の記載	第5章 訴訟終了に関する手続と調書
第2章 受付及び訴訟の開始	第5 文書を提出する方法に係る証拠調べと調書	第1 訴訟終了原因概説
第1 民事事件の受付及び分配に関する事務	第6 各種証拠調べの手続と調書	第2 判決
第2 訴状の審査	第7 争点及び証拠の整理手続の実施と調書	第3 請求の放棄又は認諾
第3 管轄	第8 進行協議期日と調書	第4 訴えの取下げ
第4 訴え提起の手数料	第9 審理及びその準備と裁判所書記官	第5 訴訟上の和解
第5 移送及び回付	第10 証拠調べの実施及び証拠調べ調書	第6章 調書の訂正・更正・省略・異議
第6 事件の報告及び通知に関する事務	第4章 請求又は当事者複数の訴訟手続と調書	第1 調書の訂正
第7 控訴提起と第一審裁判所の手続	設例	第2 調書の更正
第8 抗告提起と原裁判所の手続	第1 請求又は当事者の複数	第3 調書への記載を省略できる又は記載しない事項
第3章 訴訟の審理及び進行並びに調書	第2 弁論の分離と調書	第4 調書の記載に対する異議
第1 訴訟の審理及び進行と裁判所書記官		

関連書籍

図書 No.41 [民事実務講義案Ⅱ](#)

図書 No.42 [民事実務講義案Ⅲ](#)